

永峰高志 & 久元祐子 デュオリサイタル

名器ストラディバリウス「ヨアヒム」
ベーゼンドルファー「J.シュトラウス・モデル」
安曇野の夏・至福の響き

© Michiko Yamamoto

ROMANCE

プログラム

ヘンデル： ヴァイオリン・ソナタ 第4番 ニ長調
ベートーヴェン： ヴァイオリン・ソナタ 第5番
ヘ長調 「スプリング」作品24
ヨアヒム： ロマンズ 変ロ長調 作品2-1
シューマン： ロマンズ 作品94-2
ブラームス： ヴァイオリン・ソナタ 第1番ト長調
「雨の歌」作品78

2022

8/6 (土) 開演 14:00
(開場 13:30)



あづみ野コンサートホール

〒399-8303 長野県安曇野市穂高 3987-8
TEL.0263-82-6419

© K.Sakayori

前売り 4500円 当日 5000円 高校生以下 2500円 会員 4000円

主催：あづみ野サウンドスケープ 協力：あづみ野コンサートホール友の会 あづみ野コンサートホール音楽集団
後援：信濃毎日新聞社 市民タイムス MG プレス 大糸タイムス あづみ野エフエム放送 あづみ野テレビ
お問い合わせ：あづみ野コンサートホール TEL：0263-82-6419 FAX：0263-82-9419 E-mail：azumino@ach.ne.jp
<https://www.azumino.ach.ne.jp>

ストラディバリウス「ヨアヒム」と ベーゼンドルファー「J.シュトラウス・モデル」が 響き合うロマンスの時間

1723年製ストラディバリウス「ヨアヒム」は、ストラディバリウスの中でも特別な名器として知られ、10億円相当とも言われています。ヨアヒムは、ブラームスの友人でもあるヴァイオリニストで、ブラームスのソナタを初演したことで知られています。当時、ヨアヒムが実際に愛用していたヴァイオリンが、今回のストラディバリウス「ヨアヒム」です。

当時のオリジナルの響きで、ブラームスのソナタやヨアヒムが作曲した小品をお聴きいただけます。またヴァイオリンの名器について、ヴァイオリン作品についても演奏家から説明があります。弦楽器の魅力をたっぷりとお楽しみいただき、あづみ野コンサートホール常設の温かなベーゼンドルファーとの響きを味わい、楽器を通して時代に想いを馳せる「ロマンス」の時間にできればと思っています。



© Michiko Yamamoto

永峰高志（ながみね たかし）ヴァイオリン



東京藝術大学卒業後 NHK 交響楽団に入団。第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。2012年NHK交響楽団より同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団する。

現在、オーケストラとの共演でソリストとして、またウォルフガング・サヴァリッシュ、ペーター・シュミードル、ヴェンツェル・フックス各氏との共演等で室内楽奏者としても活躍している。コンサートマスターとしても、新日本フィル、仙台フィル、山形交響楽団、N響メンバーによる室内合奏団等に客演し高い評価と信頼を得ている。

近年はシュトゥットガルト室内管弦楽団、仙台フィル、アンサンブル神戸、N響メンバーによる室内合奏団、オンディーヌ室内管弦楽団、静岡フィル等の指揮をし、指揮者としても活動の場を広げている。仙台フィル&小曾根真氏との共演で演奏されたガーシュイン作曲「ラブソディー・イン・ブルー」、シュトゥットガルト室内管弦楽団との芥川也寸志作曲「弦楽のための三楽章」の演奏は非常に高い評価を得た。

また、国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にも当たり、その指導はヴァイオリン奏法だけでなくとどまらず、オーケストラスタディ、オーケストラ奏法にまで及び、門下からはミュンヘンフィル、フランクフルト放送響、NHK交響楽団、東京都交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルをはじめ国内外のオーケストラのオーディションに数多くの合格者を輩出している。

2010年より岩手県久慈市文化会館（アンバーホール）の芸術監督を務め、数々の公演をプロデュースし成功を収めている。2020年7月マイスター・ミュージックより新録音「ロマンス」をハイレゾ配信、CD、アナログレコードの3種類のメディアで同時リリースし、新聞、音楽誌、オーディオ誌など数多く取り上げられ注目を集める。

使用楽器は国立音楽大学から貸与されているストラディバリウス1723年製「ヨアヒム」。

久元祐子（ひさもと ゆうこ）ピアノ



東京藝術大学卒業、同大学院修了。ウィーン放送交響楽団、ラトヴィア国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など内外のオーケストラや合奏団と多数共演。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。ブロードウッド（1810年頃製）、ベーゼンドルファー（1829年製）、プレイエル（1843年製）、エラール（1868年製）などのオリジナル楽器を所蔵。それら歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く取り組む。ショパン生誕200年記念年には、全国でプレイエルの演奏会に出演し軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下（現上皇皇后）ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルが高い評価を受け、日本人で唯一ベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。「優雅なるモーツァルト」（毎日新聞CD特薦盤、レコード芸術特選盤）などCD14作をリリースし、「ベートーヴェン：テレゼ、ワルトシュタイン」はグラモフォン誌上「どこからどう考えても最高のベートーヴェン」など高い評価を受ける。園田高弘賞、毎日21世紀賞などを受賞。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」（音楽之友社）など多数。

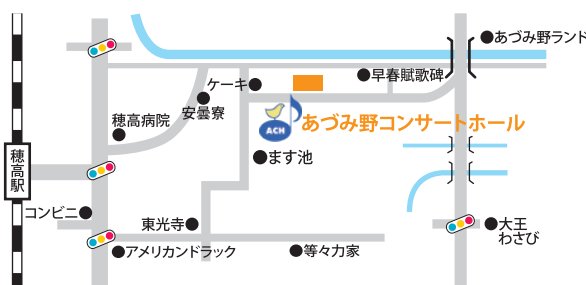
国立音楽大学及び大学院教授、ベーゼンドルファー・アーティスト

<http://www.yuko-hisamoto.jp/>

あづみ野コンサートホール友の会2022年度会員を募集しています。
年会費 個人会員 4000円 特別会員 8000円 賛助会員 10000円
今年も話題豊富なコンサートを企画しています。演奏家とのふれ合い、
交流会はあづみ野コンサートホールならではの楽しみです。

お問い合わせ あづみ野コンサートホール
TEL: 0263-82-6419 FAX: 0263-82-9419
e-mail: azumino@ach.ne.jp

www.ach.ne.jp



交通：JR大糸線 穂高駅下車 タクシー 5分徒歩 25分
長野自動車道 安曇野インターより約10分